仏教に関する実態把握調査(2017年度) 報告書

2017年6月1日

公益財団法人
全日本仏教会
WFB (世界仏教徒連盟) 日本センター





目次

■調査概要	P 2
■ 回答者プロフィール	P 3
■調査結果の要約	P 4
仏教文化の認知・体験	P 5
仏教と人との接点実態	P 13
葬儀	P 19

報告書内の記述について

※n=30未満は参考値として記載

調査概要



■ 調査目的 : 現状の仏教文化の認知状況や信仰実態を調査し、仏教の伝達促進のための基礎資料とする。

■ 調査対象 : インターネット調査会社モニタ 20~79歳の男女

■ 調査地域 : 全国

■ 調査方法 : インターネットリサーチ

■ 調査時期 : 【事前調査】2017年2月15日(水)~ 2月23日(木)

【本調査】 2017年2月20日(月)~2月23日(木)

■ 有効回答数: 【事前調査】10,000サンプル

【本調査】 6,994サンプル (一般:3,482サンプル/仏教信者:3,512サンプル)

	割付												
WB後	都心												
	男性20代	男性30代	男性40代	男性50代	男性60代	男性70代	女性20代	女性30代	女性40代	女性50代	女性60代	女性70代	合計
一般	64	107	112	147	190	174	72	123	179	206	289	176	1,839
仏教信者	77	117	144	160	205	170	65	86	122	106	144	163	1,559
							地方						
	男性20代	男性30代	男性40代	男性50代	男性60代	男性70代	女性20代	女性30代	女性40代	女性50代	女性60代	女性70代	合計
一般	72	77	96	139	232	134	40	102	120	163	283	184	1,643
仏教信者	72	122	164	196	276	218	52	101	128	162	253	209	1,953

■ 調査主体 : 公益財団法人全日本仏教会

大和証券株式会社

■ 調査実施機関: インターネット調査会社

■ 出典の記載について: コンテンツを利用する際には出典を記載してください。出典の記載方法は以下の通りです。

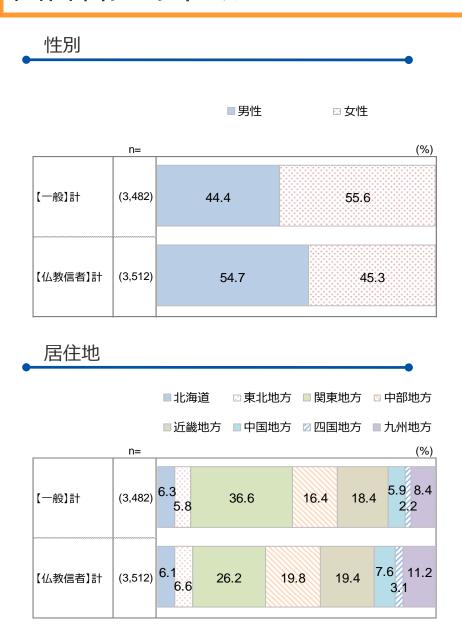
(出典記載例) 出典:「仏教に関する実態把握調査(2017年度)」(公益財団法人全日本仏教会、大和証券)

■ウエイトバック (WB) について

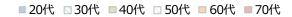
今回の本調査について、アンケート回答者の割合が 事前調査で得られた各性別×年代の出現率 と同じになるようにウェイトバック係数をかけて集計されています。

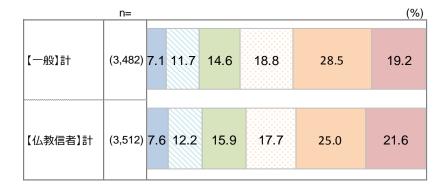
回答者プロフィール





年齢(10代きざみ)





要約版



調査結果の要約



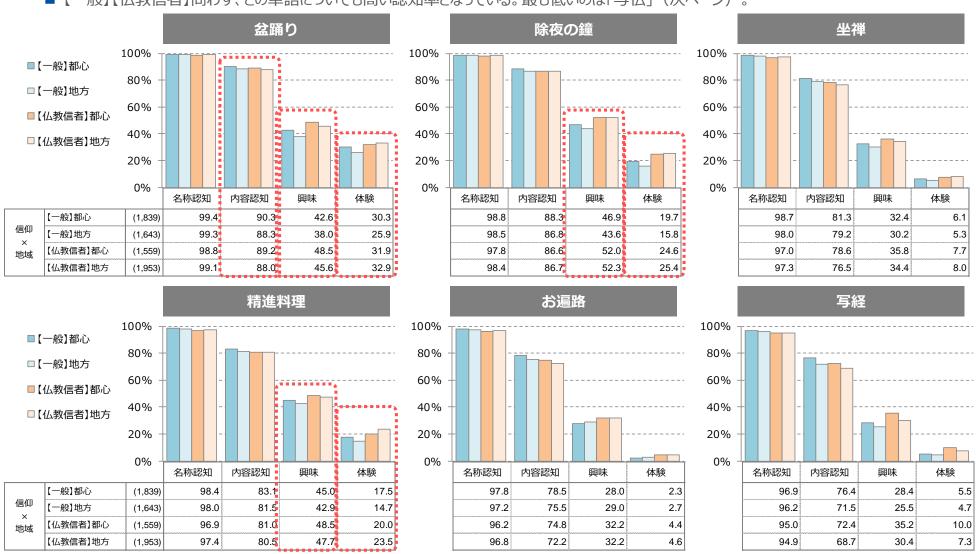
仏教文化の認知・体験

仏教文化についての認知・興味・体験について(体験を伴う仏教文化)



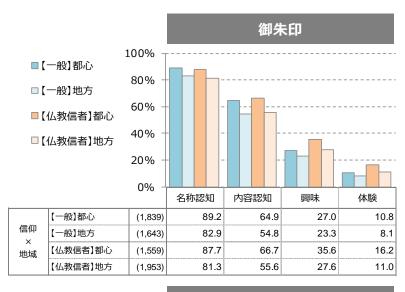
【一般】/【仏教信者】間での違いは少なく、広く認知されている。体験についても差異はほぼ無く、信仰有無と接点有無に相関は見られない。

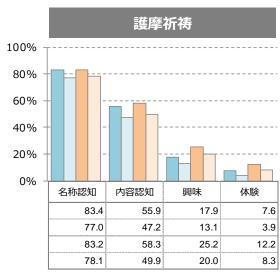
- 認知率の高い仏教文化として「盆踊り」、高く興味を持たれている仏教文化として、「精進料理」「除夜の鐘」「盆踊り」などが挙がる。
- 体験率の高い仏教文化として、最も高いものは「盆踊り」。続いて「精進料理」「除夜の鐘」が続く。
- ■【一般】【仏教信者】問わず、どの単語についても高い認知率となっている。最も低いのは「写仏 | (次ページ)。

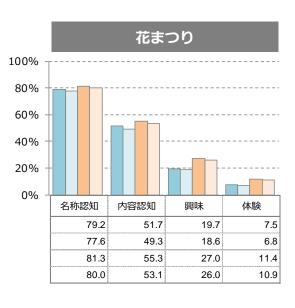


仏教文化についての認知・興味・体験について (体験を伴う仏教文化)









				写	L	
	[一般]都心	100%				
	一般】地方	80%	_ 🕞			
	【仏教信者】都心	60%				
	【仏教信者】地方	40%				
		20%		-		
		0%	名称認知	内容認知	興味	 体験
	【一般】都心	(1,839)	66.4	43.3	11.3	0.8
信仰 ×	【一般】地方	(1,643)	62.0	37.4	37.4 8.7	
地域	【仏教信者】都心	(1,559)	72.5	46.9	16.6	1.9
	【仏教信者】地方	(1,953)	68.6	40.9	12.7	1.3

仏教文化についての認知について(体験を伴わない仏教文化)



【一般】/【仏教信者】間での違いは少ない。単語によっては、【仏教信者】でも知っている割合が低いものもある。

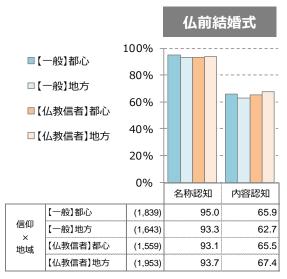
- 内容認知の高い(8割超の)仏教文化として「初詣」「葬儀」「通夜」「焼香」「お布施」といった単語が挙がる。
- ■【一般】【仏教信者】間では、「施餓鬼」「枕経」の単語において、認知率に差がみられる。

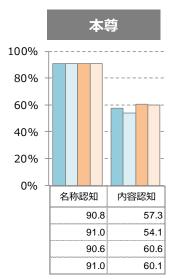


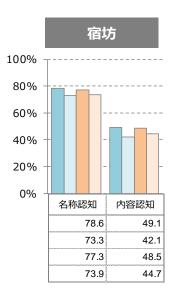
8

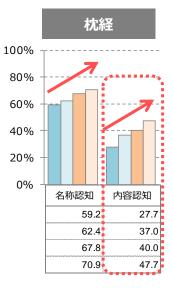
仏教文化についての認知について(体験を伴わない仏教文化)

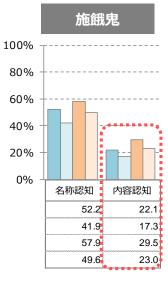










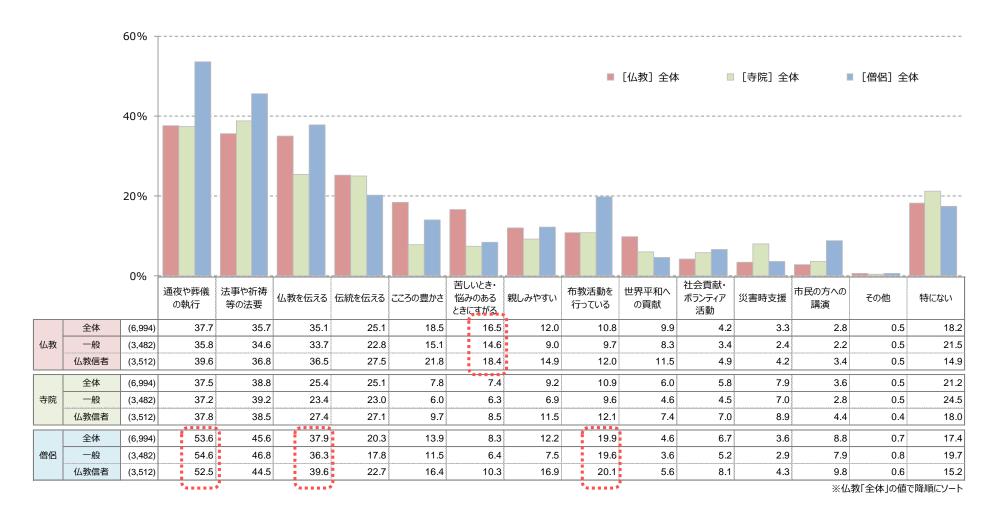


「仏教」「寺院」「僧侶」の単語から受けるイメージ



「仏教」「寺院」「僧侶」ともに、ベースのイメージは同じ。+αとして『すがる対象としての仏教』と『布教活動の主体の僧侶』が挙がる。

- ■「仏教」「寺院」「僧侶」の単語から受けるイメージとして、どの単語においても「通夜や葬儀の執行」「法事や祈祷等の法要」「仏教を伝える」 「伝統を伝える」の4項目が1位~4位に挙がる。
- ■「仏教」の単語イメージの特徴として、「苦しいとき・悩みのあるときにすがる」の項目で他よりも高い。
- ■「僧侶」の単語イメージの特徴として、上位1位~3位項目や「布教活動を行っている」の項目で他よりも高い。

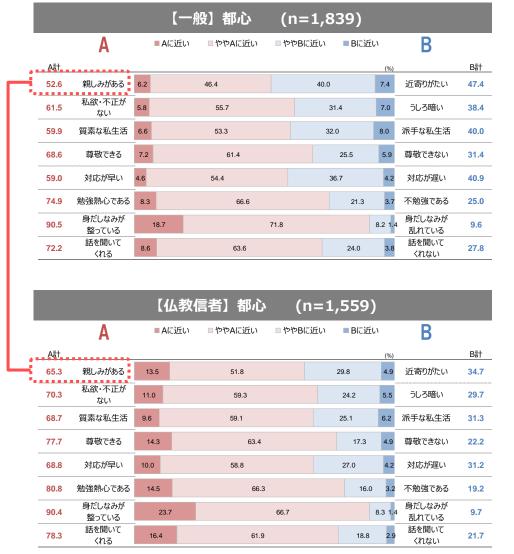


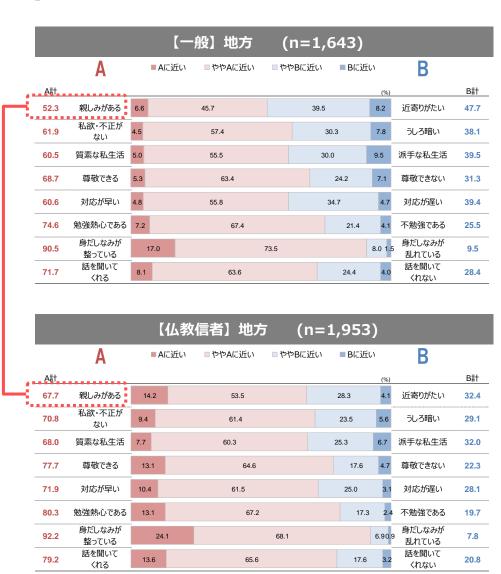
仏教寺院の住職に対するイメージ



【一般】の方が【仏教信者】よりもネガティブイメージが強く、特に「近寄りがたい」イメージは10%以上高い。

- 住職のイメージについて、最もネガティブイメージが強いのは「近寄りがたい」の項目で、続いて「派手な私生活」「対応が遅い」が挙がる。
- ■【一般】【仏教信者】間で最も差が大きいのは、「親しみがある/近寄りがたい」の項目で10%以上の開きがある。
- 都心/地方間では差がほとんど見られない。





11

寺院のWebサイト閲覧



【仏教信者】20代において、活用割合が若干高い。

- Webサイト閲覧状況において、【仏教信者】20代-40代は閲覧率が比較的高く、【一般】60代-70代は閲覧率が比較的低い。
- ■【仏教信者】20代においては、他属性よりも「お寺の由緒を調べる」「法要の依頼」「お墓の有無や募集状況を調べる」など複数項目で比較的高く、Webサイトを活用している層であると考えられる。





仏教と人との接点実態

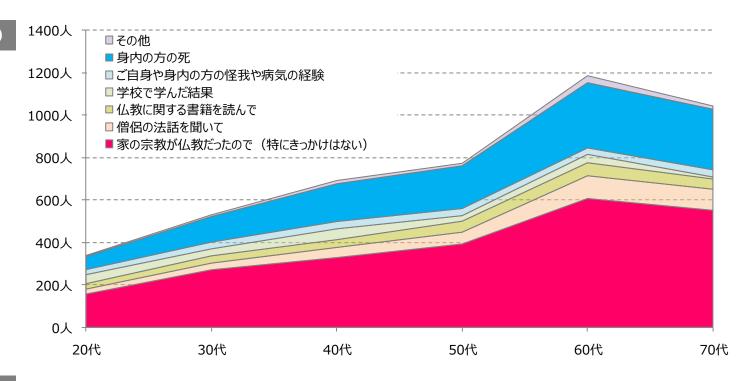
信仰のきっかけ/信仰のあつさ・理解(仏教信者)



信仰きっかけは「家の宗教が仏教」「身内の死」の2項目が大多数を占める。信仰のあつさや理解は加齢との関係性がみられる。

- ■信仰のきっかけとして最も多いのは「家の宗教が仏教だったので(特にきっかけはない)」の項目。続いて「身内の方の死」。
- 信仰のあつさや仏教の理解について、年代による傾向があり、年齢を経るごとに仏教の理解が深まり、70代になると信仰があつくなる。
- 信仰のあつさや仏教の理解について、信仰のきっかけによる差はほとんど見られない。

信仰のきっかけ(Q11)



信仰のあつさ/理解

	(信仰きっかけ)	20代	30代	40代	50代	60代	70代
信仰の	身内の死	37.1	36.4	44.3	45.1	42.6	54.5
あつさ	家の宗教	32.7	32.3	39.0	38.4	39.7	52.2
仏教の	身内の死	51.7	49.2	<u>5</u> 8.7	56.6	63.7	73.4
理解	家の宗教	54.5	48.8	<u>5</u> 8.5	5 6.3	67.7	69.2

寺院や住職との接点状況



菩提寺と【一般】/【仏教信者】との重要な接点としては、「お墓参り」「葬儀・法要」の2項目に集約される。

- 寺院との接点として「家系のお墓への墓参り(=菩提寺への墓参り)」が最も高い。【一般】都心は他属性より低くなっている。
- 住職との会話機会としては「葬儀・法要」が最も高く、続いて「お墓参り」となっている。

寺院との接点(Q7) ※1年に1回以上

	_	-般】 邓心	【一般】 地方		【仏教信者】 都心		【仏教信者】 地方		
 (n=)		1839		1643		1559		1953	
家系のお墓への墓参り		63 .8		72.6		74.9		81.5	•
地元の寺院への参拝		37.8		34.9		46.5		47.4	
観光地等の有名寺院参拝		33.9		24.9		38.8		29.3	
縁日や盆踊り等の寺院での祭り		14.7		10.1		22.2		15.6	
お盆法要		11.3		11.6		22.9		22.8	
彼岸法要		9.0		8.6		20.4		20.0	
花まつりへの参加		2.5		3.0		4.9		5.6	-
僧侶による講演への参加		1.8		2.2		5.8		7.3	
寺院の子供向け行事・イベント		1.1		0.9		3.1		3.4	
寺院での勉強会		1.0		0.9		3.3		3.9	
仏教団体主催の講演会・セミナー等		0.7		0.9		3.5		4.1	
写経会		0.8		0.3		2.6		2.1	
坐禅会		0.7		0.3		2.4		1.6	

住職との会話機会(Q21)

	_	一般】 都心	_	一般】 地方	【仏教信者】 都心		[1/	教信者】 地方				
(n=)		1025		875		984		1229				
葬儀・法要		49.7		54.7		63.8		70.8				
お墓参り		24.9		23.8		42.2		38.7				
檀家の活動	2.5		2.7		9.8			13.2				
縁日等のイベント		1.2		1.2		1.2		2.7		5.6		7.1
地域の寄合		0.6		0.8		2.9		6.0				
その他		1.8		2.6		1.4		3.3				
定期的に電話あり		0.2	0.4		2.5			2.3				
悩み相談		0.2		0.3		1.4		1.3				
会話機会なし		42.7		39.3		25.8		19.8				

※菩提寺・・・葬儀や法事を執行するなど、お付き合いのある寺院を指します。

菩提寺や菩提寺住職の印象



--□--【仏教信者】地方

菩提寺のきれいさに関する項目は、【一般】/【仏教信者】問わず高い割合となっている。

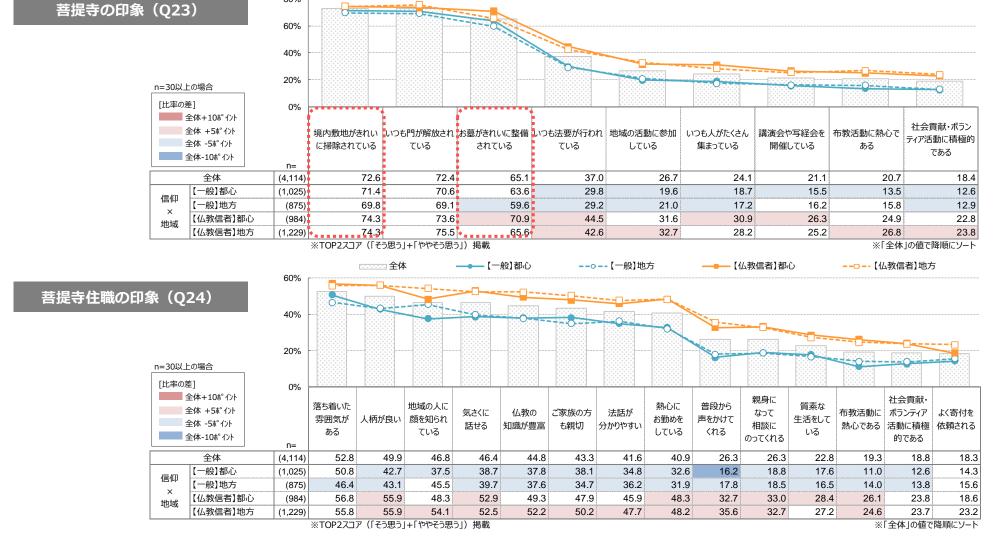
■ 菩提寺の印象について、上位3項目には【一般】/【仏教信者】間で差は無いが、その他項目では、【仏教信者】>【一般】となっている。

──【一般】都心

■ 菩提寺住職の印象について、特に【一般】都心の「普段から声をかけてくれる」は他属性よりも低くなっている。また、「地域の人に顔を知られている」 について、地方の方が都心よりも高い傾向にある。

--0--【一般】地方

──【仏教信者】都心



菩提寺や菩提寺住職に対する総合満足度



接触頻度が高い、情報提供を実施しているなど、より接しているケースの方が満足度が高い傾向にある。

■十分法兄である。□めめ法兄している□じたらともいうかに

- 年代の傾向として、【一般】/【仏教信者】それぞれの中でも若年層や高齢層で満足度が高い傾向にあり、40-50代では不満層が多くなる。
- ■「1年に2回以上」菩提寺に訪問している人は満足度が高い傾向にある。
- ■「寺報」「季節の便り」など、菩提寺から情報提供しているケースの方が満足度が高い傾向にある。

菩提寺の総合満足度(Q25)

■十分満足である ■ やや満足している □ とちらともいえない								ハスない		
			### 	不満がある 📱	かなり不満	苛ある		(%)		TOP2
	全体	(4,114)	13.8	37.3			39.5	6.3 3.1	1	51.1
	[一般]20代	(110)	11.3	40.1			42.0	3.82.7	7	51.4
	[一般]30代	(185)	9.0	33.2		47	7.8	6.0 4.0	, [42.2
	[一般]40代	(277)	9.4	29.4		51.9 51.0		5.9 3.4		38.9
	【一般】50代	(359)	11.6	26.1				7.24.1		37.7
信	[一般]60代	(557)	9.1	34.1		45.3		8.43.1		43.2
仰 ×	【一般】70代	(411)	11.0	38.1		39.6		7.5 3.8		49.0
年	【仏教信者】20代	(152)	16.4	4	48.7		30.6	3.40.	9	65.1
代	【仏教信者】30代	(249)	13.0	40.0	40.0		39.3	5.1 2.8	3	52.9
	【仏教信者】40代	(344)	12.7	36.5			39.9	6.74.1		49.3
	【仏教信者】50代	(401)	12.2	36.3		;	39.7	6.9 4.9		48.5
	【仏教信者】60代	(567)	18.2	2 4	13.9		30.2	5.6 2.0	0	62.2
	【仏教信者】70代	(501)	23	3.9	42.9		27.4	4.71.	1	66.9



n=30以上の場合

[比率の差]

全体+10ポイント

全体 -5ポイント

全体 -5ポイント

全体-10ポイント

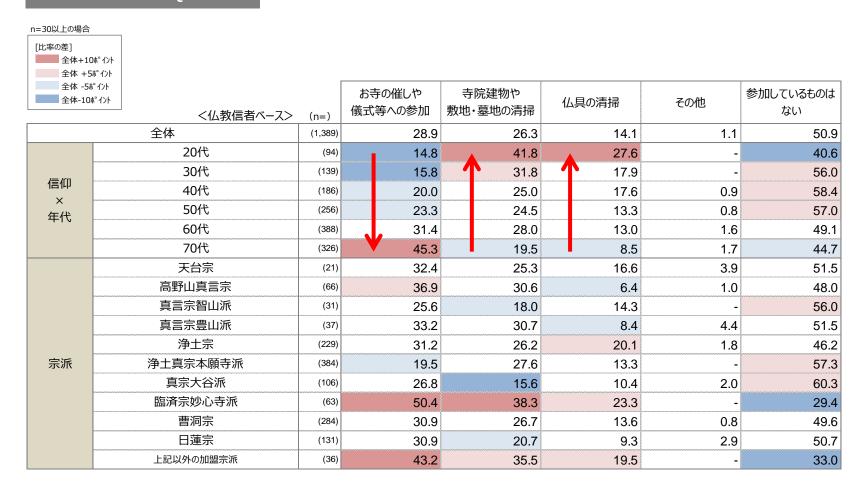
檀家活動(仏教信者)



若年層/高齢層について、参加率の高い檀家活動が異なる。

- 約半数の人が檀家活動に参加しており、中でも高いのは「お寺の催しや儀式等への参加」「寺院建物や敷地・墓地の清掃」。
- 檀家活動については年代による傾向があり、20-30代では、「寺院建物や敷地・墓地の清掃」「仏具の清掃」などで参加率が高く、70代では「お寺の催しや儀式等への参加」の参加率が高い傾向にある。

檀家活動状況(Q17)



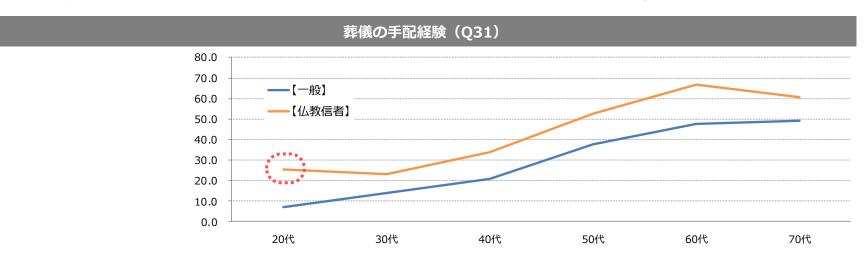


葬儀



葬儀の手配経験や不安については、経験の影響を受ける。

- ■【仏教信者】20代において、葬儀手配経験率が比較的高い。
- 年齢を経るごとに不安の割合が低くなるが、費用に関する項目については、経年の影響を受けづらい様子が伺える。



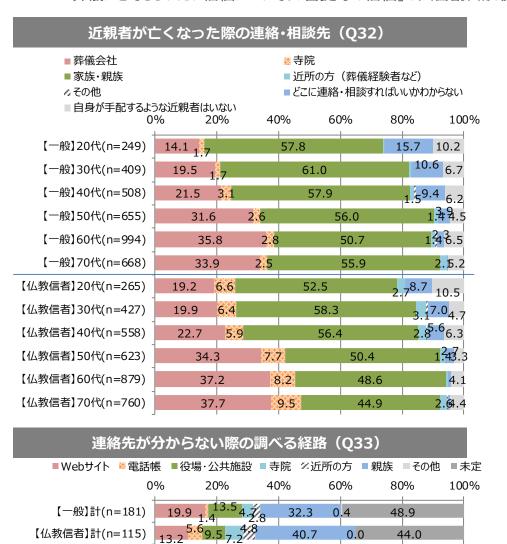
【一般】	20代	30代	40代	50代	60代	70代			
費用が分からない	86.8	80.9	72.4	64.1	51.1	49.8			
葬儀や法要に何が必要か分からない	84.9	77. ₁	69.4	51.1	41.2	34.6			
お布施の金額が分からない	83.9	81.9	75.4	65.7	57.6	53.7			
どこまで声をかけていいかわからない	80.0	77.4	71.9	56.6	44.0	34.8			
仏壇の飾り方がわからない	78.7	71.9	68.2	52.1	41.7	34.6			
どこに相談して良いか分からない	77.9	71.2	62.4	45.9	35.9	29.5			
自分の家系の宗派などが分からない	46.8	41.5	31.1	16.6	12.4	8.7			
【仏教信者】	20代	30代	40代	50代	60代	70代			
葬儀や法要に何が必要か分からない	75.2	69.9	5 <mark>8.8</mark>	47.3	33.8	26.1			
お布施の金額が分からない	73.5	76.0	69.6	57.8	45.0	43.9			
費用が分からない	72.7	76.0	67. <mark></mark> 5	54.8	41.9	38.7			
どこまで声をかけていいかわからない	72.5	72.5	63.9	51.6	35.7	29.5			
どこに相談して良いか分からない	70.9	64.4	53.9	40.4	24.8	20.4			
仏壇の飾り方がわからない	66.3	69.7	58.2	47.6	35.7	28.3			
自分の家系の宗派などが分からない	32.2	28.4	20.7	12.1	4.8	4.0			

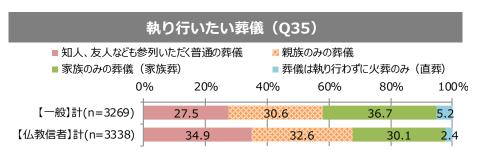
近親者が亡くなった際の葬儀について

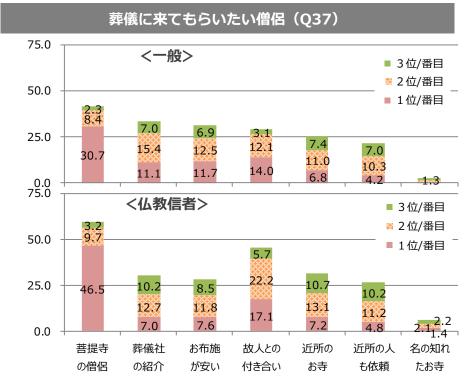


近親者が亡くなった際の葬儀については、「家族・親族に連絡」「菩提寺僧侶」「家族葬」がそれぞれ回答割合が最も高い。

- 連絡・相談先について、年齢が高くなるほど「葬儀会社」の割合が高くなる。
- 執り行いたい葬儀について、【一般】は「家族のみの葬儀(家族葬)」、【仏教信者】は「知人、友人なども参列いただく普通の葬儀」の割合が高い。
- 葬儀にきてもらいたい僧侶について、「菩提寺の僧侶」の回答割合が最も高い。







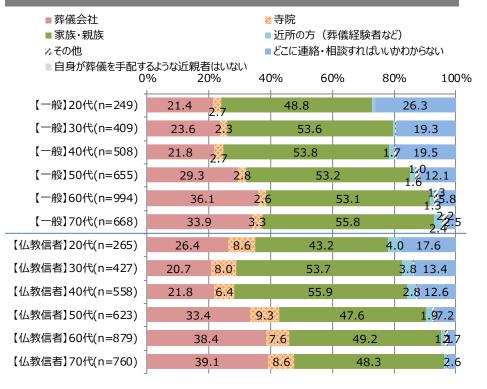
ご自身が亡くなった際の葬儀について

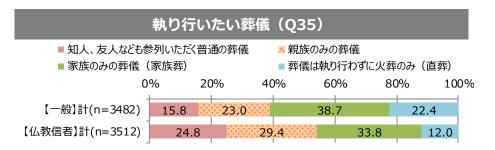


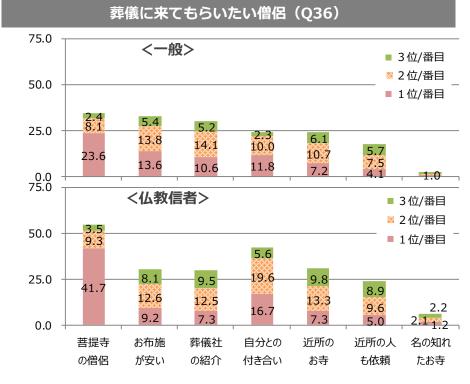
ご自身が亡くなった際の葬儀については、「家族・親族に連絡」「菩提寺僧侶」「家族葬」がそれぞれ回答割合が最も高い。

- 連絡・相談先について、年齢が高くなるほど「葬儀会社」の割合が高くなる。
- 執り行いたい葬儀について、【一般】の人において「葬儀は執り行わずに火葬のみ(直葬)」の回答割合が高い。
- 葬儀にきてもらいたい僧侶について、「菩提寺の僧侶」の回答割合が最も高い。

ご自身が亡くなった際の近親者が連絡・相談する先(Q32)







本調査の照会先



〒105-0011 東京都港区芝公園4-7-4明照会館2階 公益財団法人 全日本仏教会 info@jbf.ne.jp

第2版 2017年6月1日

